

菱山浄水場活性炭接触槽及び排水池防食工事

特 記 仕 様 書

甲州市上下水道課

第 1 章 総 則

1. 適用範囲

本仕様書は、甲州市が発注する「菱山浄水場活性炭接触槽及び排水池防食工事」に適用する。
また本仕様書に記載されていない事項は下記の現行標準規格等に準拠するものとする。
但し、特に指定のある場合はこの限りではない。

材料に関するもの

- (1). 水道施設設計指針 (日本水道協会)
- (2). 水道工事標準仕様書 (日本水道協会)
- (3). 建築工事共通仕様書 (日本建築学会)
- (4). 日本工業規格 (J I S)
- (5). 日本水道協会規格 (J W W A)
- (6). その他関係、諸規格規定

施工に関するもの

- (1). 労働基準法
- (2). 労働安全衛生法
- (3). 労働者災害補償保険法
- (4). 建設業法
- (5). 建築基準法
- (6). 消防法
- (7). 公害対策基本法
- (8). 大気汚染防止法
- (9). 水質汚濁防止法
- (10). その他関係法令・条例並びに県・市条例

2. 工事範囲

本工事範囲は別紙図面等に示す範囲とする。

3. 履行期間

履行期間は契約書に記載されている期日を遵守するものとする。

4. 施工計画書の作成・設計書の照査

工事着手に先立ち、施工計画書を監督員に提出し承認を得ること。設計図面・内容の精査を行い、疑義が生じた場合は、直ちに監督職員と協議するものとする。

5. 工事工程の調整

本工事の施工に際し、円滑に業務が進むよう努めること。工事着手の際には影響範囲の住民と

トラブルが無いよう日程調整した上で周知を徹底すること。

6. 起工測量

工事着手に先立ち、起工測量を行い監督員に報告すること。起工測量結果に基づき、設計図面・内容の精査を行い、疑義が生じた場合は、直ちに監督職員と協議するものとする。

7. 工事着手

工期の始期日から30日以内に工事着手すること。ただし、発注者が指示した場合、又は発注者の承諾を得た場合はこの限りではない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督員と打ち合わせにおいて定め、「工事打合せ簿」により監督員に報告すること。

8. 主任技術者、監理技術者又は監理技術者補佐（以下「主任技術者等」という。）の配置及び現場代理人の常駐を必要としない期間

- (1) 工期の始期日から現場施工に着手するまでの期間（起工測量、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者等の工事現場への配置を必要としない。また、現場代理人についても常駐を必要としない。
- (2) 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続き、後片付け等が残っている期間については、主任技術者等の工事現場への配置及び現場代理人の常駐を必要としない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（「完成検査結果通知書」等における日付け）とする。

9. 交通安全対策

本工事に必要な工事車両等は、公道を通行することになるため、周辺住民の通行の障害にならないようにする。工事用車両の出入りについて、一般車両との事故等を予防するための必要な処置を行うものとする。また、工事区間・工事用進入路及び一般道との交差部等について粉塵等の防止措置を受注者の責任において行うものとする。

10. 工事实績情報の登録

受注者は、受注・変更・竣工・訂正時にコリンズから出力される「登録のための確認のお願い」等により監督員に登録確認を受けたうえ、工事实績情報を登録しなければならない。登録の期限は、受注時登録は契約後、登録内容の変更時は変更があった日から、完成時登録は工事完成後、それぞれ10日以内（土日・祝日・年末年始を除く）とする。

また、登録後は「登録内容確認書」の写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間（土日・祝日・年末年始）に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

・登録先：（財）日本建設情報総合センター（JACIC）

11. 法定外の労災保険の付保

- (1) 本工事において、受注者は「法定外の労災保険」に付さなければならない。

- (2) 前項の保険契約を締結したときは、その証券等の写しを速やかに工事担当課へ提出しなければならない。
- (3) この特記仕様書における「法定外の労災保険」とは、従業員等が業務上の災害を被った場合に、法定労災保険の保険給付に上乗せして雇用者が従業員、又はその遺族に支払うことを目的としている保険をいう。

1 2. 使用材料の管理

- (1) 工事に使用する各種工事用材料は、工程表に従い工事の進捗に支障のないように手配しておかなければならない。
- また、二次製品等については、使用前に監督員の検査を受け、承認を得なければならない。
- (2) 発注者が本工事で使用する材料等の検査を要求したときは、受注者は遅滞なくこれに応じなければならない。また、検査に必要な処置を講ずること。
- (3) 現場に搬入した材料は、監督員の指示する場所に整理し、随時点検ができるようにしておかなければならない。
- (4) 使用材料として検査に合格したものであっても、使用時に監督員が変質または、不良品と認めたものは、使用することができない。この場合、使用不適の材料はすみやかに良品と交換しなければならない。
- (5) 工事による現場発生品及び残材は取りまとめて監督員の指示に従わなければならない。
- 処分に必要な費用は受注者の負担とする。
- (6) 材料は指定品を優先し、次に、工事着工前に提出されたメーカー一覧表承認図によって承認された業者の製品とする。また、同種製品の部品は、完全な互換性のものでなければならない。

1 3. 不正軽油の使用禁止

受注者は、工事の施工に当たり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油を使用してはならない。また、受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。

1 4. 安全教育・訓練等の実施

本工事の施工に際し、現場に即した安全・訓練等について、工事着手後原則として作業員全員の参加により月1回半日以上時間を割当て下記の項目から実施内容を選択し安全管理・訓練等を実施するものとする。

- ・安全活動のビデオ等視覚資料などによる教育
- ・本工事の内容等の周知徹底
- ・土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
- ・本工事における災害対策訓練
- ・本工事の現場で予想される事故対策
- ・その他、安全管理・訓練等として必要な事項

1 5. 現場監理

- (1) 受注者は、工事現場の一般通行者に対し見易い場所に工事名、工期、事業主体名、工事請負者住所、氏名、電話番号及び現場代理人等を記載した標示板を設置しなければならない。
また、上記内容を記入した工事予告標識を、工事着手10日前迄に設置しなければならない。
- (2) 受注者は、工事の進捗に影響を及ぼす事故及び人命に損傷を与えた事故等が発生した時は、すみやかに人命救助を図るとともに、監督員への報告はもとより、関係機関への報告、手続きを行い、遅滞なくその状況を発注者へ書面をもって、報告しなければならない。

1 6. 防災及び保安

- (1) 受注者は、豪雨、出水、その他の天災に対しては、平素から気象通報などについて充分注意を払い、常に万全の措置を講じられるよう準備しておかねばならない。
- (2) 受注者は、工事施工のため通行者に危険を及ぼす恐れのある場合、もしくは一般の通行を禁止する必要がある場合には、その区域に適当な防護柵を設けるとともに通行者の注意を促すための標識または、立入り禁止の標示をし、すみやかに監督員に報告しなければならない。
この場合夜間は、適当な照明を点じるとともに、危険個所に赤色灯を設置しなければならない。
- (3) 受注者は、交通誘導員および機械の誘導員等の交通整理を徹底指導するものとし、バリケード、転落防止柵、照明、工事標識の美装化を図る。

1 7. 諸法規の遵守

- (1) 受注者は、工事の施工にあたっては、緊急失業対策事業法、労働基準法、職業安定法、失業保険法、労働者災害補償保険及び労働安全衛生法など、各関係付属法規並びに工事に関する諸法規を遵守しなければならない。
- (2) 労働者に対する諸法規の運営適用は、受注者の負担と責任において行い、使役する全労務のすべての行為について責任を負わねばならない。

1 8. 暴力団等からの不当要求及び工事妨害の排除

受注者は、工事の施工に当たり、暴力団等からの不当要求及び工事妨害を受けた場合は、その旨を直ちに発注者に報告するとともに、所轄の警察署に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに発注者と協議すること。

1 9. 電子納品

- (1) 本工事は、電子納品対象工事とする。
電子納品対象書類は、工事完成書類のうちの工事写真とする。
電子納品とする場合は、監督員と協議を行うこと。
- (2) 納品する電子データは、「山梨県県土整備部 電子納品要領」（以下「要領」）及び、「山梨県県土整備部 電子納品運用マニュアル」（以下「運用マニュアル」）に従い作成する。
- (3) 成果品は、要領及び運用マニュアルに基づいて作成した電子データ及び紙による報告書を次のとおり提出する。

- ・電子媒体（CD-R等）2部
- ・紙による報告書 1部（原則として簡易製本とし、すべてを紙で製本して納品する必要はないものとする。）

要領及び運用マニュアルで特に記載がない項目については、監督員と協議のうえ、電子化の是非を決定する。

20. 工事完成書類

別紙『工事完成書類一覧』に基づき、工事完成書類を整備・提出すること。

21. その他

本特記仕様書に明記されていない事項については、監督員の指示に従うこととする。また、本特記仕様書によりがたい事態が発生した場合、あるいは内容に疑義が生じた場合は、速やかにその都度監督員と協議の上決定するものとする。

第2章 内面防食工

1. 工事概要

この仕様書は、菱山浄水場活性炭接触槽及び排水池の塗装仕様の概要を示したものである。実際の施工にあたっては、仕様書ならびに施工要領書を監督員に提出し承認を得るものとする。使用する材料は、水道施設の技術的基準を定める省令（平成12年厚生省令第15号）第1条第17号ハの規定に基づく浸出試験結果を満足する製品とする。

2. 下地処理並びに塗装工法

(1). エポキシ塗装

エポキシ樹脂塗装は J W W A K-143適合品とする。

エポキシ塗装は、2液タイプのものを使用し、主剤と硬化剤を定められた配合比で秤量し、よく混合攪拌して均一になってから使用すること。

標準仕様：ライニング厚さ 500 μ m以上

| 工種 | 膜厚（ μ m） | 塗布間隔（20℃） | 塗布方法 |
|----------|--------------|-----------|--------------------|
| プライマー | - | 1時間～7日間 | 刷毛・ローラー 刷毛・エアレス |
| 下塗り | (250) | 6時間～7日間 | ゴムヘラ・金コテ ・ゴムコテ |
| 上塗り（1回目） | 250 | 12時間～7日管 | 刷毛・ローラー 刷毛 |
| 上塗り（2回目） | 250 | - | 刷毛・ローラー 刷毛 |

(2). 耐候性塗装

エポキシ樹脂塗装の紫外線対策として耐候性のトップコートを塗布する。

使用する塗装は J W W A K-143適合品とする。

別紙 工事完成書類一覧

| | 項目 | 確認欄 | |
|----|---|-----|-----|
| | | 受注者 | 発注者 |
| 1 | 工事打合簿 | | |
| 2 | 施工計画書 ※契約金額1000万円以上もしくは 監督員が提出を求めた場合 | | |
| 3 | 実施工程表 | | |
| 4 | 使用材料承認図 | | |
| 5 | 段階確認・立会一覧表 | | |
| 6 | 出来形数量比較表 | | |
| 7 | 出来形管理図・管理表 | | |
| 8 | 工事写真 | | |
| 9 | 安全教育等実施状況報告書 | | |
| 10 | 創意工夫・地域貢献 | | |
| 11 | その他 監督員が提出を求める書類 | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

※順序不同

※下請契約する際には、施工体制台帳を協議書として提出すること